室戸市保育所及び学校適正規模・適正配置実施計画（案）地域説明会での意見・質問と回答内容

1　日時：令和５年７月７日（金）　１８：３０

2　場所：室戸市役所　第1会議室

3　市出席者：百田教育長・山本教育次長兼学校教育課長・村上課長補佐・高崎班長

4　参加者数：８人

No.	発言内容	回答内容
1	○各会場でどういう意見があったのか紹介してほしい。	○この説明会は昨日から始めており、昨日は佐喜浜・今日が室戸・来週の月曜日が元・火曜日が吉良川・水曜日が羽根となっており、現時点ではすべての地域の方のご意見はまだ出てきていない状況。 佐喜浜地区では、小規模であっても残してもらいたいという強い思いがあると感じており、再度協議の場を持つこととしている。
2	○室戸高校との協議により、施設の共有が難しいと判断し、スケジュールが２年遅れるということだが、これは室戸高校の近くにプレハブを建てるのか。中高一貫校の予定だったのか。	○令和２年委立ち上げた検討委員会で室戸高校の施設を使えないかというご意見があり、教育委員会と県教育委員会が協議をした。中学校として、１学年２クラスで、１週間当たりの授業でどのくらいの教室が必要か、高校には無い施設として特別支援室、技術室、給食の受配施設、中学校の職員室の必要を申しました。室戸高校からは、中学校が求める教室数というのは難しいという教具の中で、室戸高校の周辺に土地を買ってそこへ新たに作る形を判断した。仮設ではなく、本校舎を創る。
3	○佐喜浜の保護者から、スクールバスの送迎で国道が止まった場合の市の対応を聞かれた。	○台風とか、事前にわかる場合は、休校の措置がとれるが、線状降水帯とか予測ができないタイミングで大雨が降って国道が遮断された場合は、学校が責任をもって見るということになる。あくまで保護者に引き渡すまでは学校が責任を持ってみます。あと、南海地震の時に津波が発生した場合に、学校で避難を余儀なくされる状況は考えられる。
4	○学校がみるゆうてもどのような形で見るのか。例えばホテルへ連れていくのか、学校で寝泊まりするのか、キャンプみたいにするのか。	○基本は学校の施設の中になる。統合中学校は、市の避難場所の指定を予定しており、その避難場所で過ごす形になる。当然学校が責任を持ってみます。避難が長引いた場合には、市の災害対策本部が職員を行かすことになります。
5	○アンケートの結果で、保育所の保護者の意見はどうなっているのか。	○保護者別や地区とかのさび分けができていない。昨日の説明会でも意見があったので、さび分け後に公表する。
6	○（移転する場合に）室戸高校が無理な場合に既存の羽根中学校や山の上に体育館があるので、中央公園へ移転するとか柔軟な発想は今後どうなのか。	○当初は室戸中学校の移転ということもあってそこでスタートしており、生徒数のこともあり新しい中学校は室戸地区となっている。
7	○元小学校は９名しかいない。早く統合してもらいたいという声はないか。	○来週の月曜日に地区へ入ってそのあたりの声は聞こえてくると感じている。現在でも元地区から室戸小学校へ通われている子どももいる状況で、地域の方の声も再度聞いて判断していきたい。統合を望む声は以前からあったと聞いており、今回の実施計画では、年度を明記して統合を考えていく形にしている。
8	○もっと早くしたらどうか。２年連続で卒業式もないし、複式であり、今の先生も複式が初めてで、先生との距離感は近くていいとは思うが、逆に近すぎてわがままというか、自分の意見がすべて通ってしまうていうのもある。行事ごとに保護者の負担もすごく大きい。５年生６年生になって室小と宿泊研修を一緒にやるのはいやや、修学旅行も行きたくないとかになっている。 ○吉良川羽根佐喜浜は小学校から中学校があるが、元小学校は結局室中で室小と一緒にならないといけない。交流会も実質やっていないので、お泊りや修学旅行、水上交換会などが子ども達にストレスになっている。来年１５０周年記念に係っているので、そういう会でも負担になってくるので、すぐに（統合を）してほしい。	○今の元小学校の現状は承知しているが、統合するにあたって、様々な方のご意見があること、事前の児童や教職員の交流などを行った中で統合していくべきと考えている。それで、１年の中でそういうことをしたうえで、令和７年度から統合するというのがこの実施計画の考え方となっている。

No.	発言内容	回答内容
9	○昨年度の吉良川の会場で話を聞いたときに検討委員会では統合を段階的に統合していくこととしているが、この検討委員会の答申はこのまま進められていくのか。	○確かに検討委員会のほうでは、中学校は段階的に１校に統合を行うべきであるということで、昨年の基本計画では、令和７年度に室戸中学校を移転し、その後他の中学校を統合していくという計画になっていた。今回の実施計画では、スケジュールの見直しで、（施設整備が）２年遅れとなること、令和１０年度の各学校の生徒数の状況を見たときに、そのタイミングで４つの中学校が対等な立場で統合したほうが良いと判断している。対等の立場というのは、４つの中学校が統合中学校ができるまでに、学校のあり方を検討する場があり、一緒に考えた新たな統合中学校としてスタートしたらどうかというのが実施計画の考え方となっている。
10	○この統合の話は違和感を感じる。地域に学校を残してほしいと皆が言っている。統合せずにやっていける方法はないのかという案は出せないのか。	○（令和１０年度の）各学校の生徒数の状況が、場合によれば中学校でも複式学級の編成が必要になってくる。そうした教育環境が果たして室戸の子ども達にとって本当にいいのかということは考えている。小規模校のメリットもあり、統合して一定規模の学校もメリットがある。一方、地域の方のやはり地域に残してほしいという声も強い。教育委員会のほうでは、一定規模の児童生徒数が確保されていること、バランスの取れた教職員数が配置された学校、そういう環境をつくってやるべきだというのが考えだ。この考えに対していろんな意見が出てくると思うので、真摯に受け止めてその上でどうしていくかを判断させていただきたい。
11	○中学校が羽根中学校以外は浸水域内で、小学校はどうか。	○吉良川小学校だけが非浸水区域内である。
12	○（羽根地区の）小学校と保育所が中学校の統合後に跡地に移転を検討するとあるが、建物を建てるのではなく今の中学校にということか。	○そうです。中学校の施設を活用します。
13	○空き教室があるので、そこへ保育所や小学校を入れることができないか。	○小学校を移すとなると小学校用の職員室や保健室など、圧倒的に数が足りない。
14	○中学校が統合後は、保育所小学校は同時に（移転が）大丈夫ということか。	○小学校が中学校に行く場合、階段や手洗い場の高さを低くする必要が出てくる。引っ越し作業もあり、令和１０年度に小学校と保育が挙げれるかは今の時点では言えない。
15	○各学校の運営協議会は作っていないのか。	○令和３年度から佐喜浜地区でスタートし、今年度から吉良川地区でスタートしている。７月には羽根地区でスタートする予定で、今年度中にはすべてで設置する予定。
16	○一歩的に統合するのではなく、地域に残していく方法はないのか。小豆島の２４の瞳があったが、あれは１２人でも非常に素晴らしい教育ができた。少人数になったから教育ができないということはない。	○ご意見としてお伺いしておく。